平成23年度 杉森中学校 第5回学校運営協議会 会議録

日時　平成 23 年 9 月 21 日(水)

PTA 懇談会　17 時 00 分～18 時 30 分

運営協議会　18 時 40 分～19 時 35 分

会場　杉森中学校　会議室

出席者

《協議会委員》　石田　壽文
高﨑　彰
伴野　博美
大川　洋
安藤　雄太
由井　営太郎

大橋　亮介(校長)

《杉森中学校事務局》　田邊　克宣(副校長)
長谷川　祐子(嘱託事務)

17時00分～18時30分　　運営協議会前に、PTA懇談会が行われました。
＊内容等の概略は、ＰＴＡ便りで紹介する予定

出　席　者

－PTA－

PTA会長　　露木　美紀
副会長　　広瀬　幸子
会　　計　　古川　真里
2年学年委員長　石田　阿以子
広報委員長　　新井　登貴子
副委員長　　佐藤　よし子
広　　報　　宮下　裕美

－協議会委員－

石田　壽文
高﨑　彰
伴野　博美
大川　洋
安藤　雄太
由井　営太郎

18時40分より運営委員会

A委員　　本日は嵐の中で開催を迷ったのですが、第一部は PTA さんとの懇談会をさせていただきました。

司　　会　　校長先生の方からご報告よろしくお願いいたします。

校　　長　　ESC(イングリッシュ・サマー・キャンプ)は、今年23名が参加してくれました。非常に積極的にコミュニケーションをとっている姿を見かけました。今年は事前学習もしっかり入れていきました。

初めての子、2年目の子などいたのですが、とてもよい雰囲気で、すばらしいキャンプになりました。私もパフォーマンスで参加しました…。

最終日に伴野さんに寸劇を観ていただきました。わかりやすい物語を英語で表現して、大道具・小道具なども自分たちで作っていました。

去年よりさらにグレードアップしているのではないでしょうか。しかし、残念なことに秋川荘での来年度、区の整理の対象になっているらしく、来年度は予約を一応は入れられるのですが…。行えるかどうか未定です。もしかしたら ESC での利用は最後になるかもしれません。3日間寝食を共にして外国人とコミュニケーションをとると言う事にメリットがあるので、施設が使用できないととても残念です。

中学生レスキュー隊に7名が参加しています。色々な研修会に出ているのですが、25日に震災救援所の訓練があります。少しでも地域のお役に立てればと思いますし、地域の一員として活躍できると嬉しい

校　　長　　と思います。

吹奏楽部が都の吹奏楽コンクールで金賞をいただきました。また、11 月 29 日(土)のジャズフェスティバルに参加することになりました。

バスケ部男女、区内で優勝しました。卓球シングルスも優勝しました。良い成績を残しています。また良い成績が出なくても、本当に熱心に部活に取り組んでいます。夏休みも途切れることなく練習をしてる姿を見て関心しました。

9 月に入って環境サミットに参加しています。生徒会の坂井君・草野さんが参加してくれています。サミットの取り組みを二人がやってくれていて、コーディネーターにほめられました。

先日 9 月 13～14 日、1 年生の移動教室「相模湖」に引率しました。どのように活動できるか心配もありましたが、実行委員を中心によく活動していました。男女とも仲良く、各班で料理を作っていました。時間や行動も指導すれば、しっかりできる子たちです。

私が下山途中に生徒に対応していてケガをしてしまいました。

2 年生の校外学習鎌倉の指導も進んでいます。実行委員を中心に、子どもたちが自主的に動ける学年です。9 月は色々と行事が多いのですが、副校長から報告してもらいます。

副校長　　先週 15 日から学校公開が始まりました。17 日、土曜日の学校説明会には 51 名の方が出席されました。今年度、馬橋・杉一小で 109 名の名簿搭載があります。新一年生 3 クラスという予定でいます。

授業参観・学校公開の感想をいただいているので、まとめておきます。

9/28～9/30 に 3 年生の修学旅行があります。30 日には 2 年生の校外学習(鎌倉)があります。

10 月の予定としては、10/5 杉教研で馬橋・杉一・杉森の揚小中合同研究会があります。杉森中は今まで小中の取り組みをあまり進んでいなかったということで、各校の教務主任を中心に進めてく第一歩です。第一回目なので、とにかく行き来しましょうということになっています。公開日はお互いの学校を訪ねて顔を合わせようという事になりました。

テーマを『小中一貫教育のなめらかな接続に向けて』サブテーマをを「心豊かな子どもと、ふるさとをはぐくむ」ということで、実施していく予定です。午後には分科会があります。

副校長　　10月21日(金)合唱コンクールがあります。

生活指導面で2点あります。まず、9月12日(月)野球部の活動中に2年生の男子が、アップのベースランニング中に突然意識をなくし倒れました。救急車を呼び、救急車が到着する前に意識がもどり、呼吸もできるようになっていました。東京医大に搬送され、次の日はベッドで起き上がってテレビを見られる位に回復していました。

昨年入学後まもなく、5月にも体育祭の練習中に突然倒れたことがあり、今回はあらためて精密検査をということで東京医大で検査を受けています。今日退院予定です。

A委員　　AEDは使ったんですか。

副校長　　AED も準備して側にありましたが、その前に呼吸が戻ったので使いませんでした。

校　　長　　意識は戻っていたので、気道を確保して救急車を待ちました。本当に顧問の田所教諭が迅速に処置してくれました。

副校長　　2点目は、9月16日(金)2年生の男子が6人の生徒から手を出されるということがありました。当事者への指導・本人への対応・保護者への連絡をすぐに行いました。経過確認し、今朝学年会議を行いました。後日報告をまとめます。

7月中に10教室にエアコンがついたのですが、付けた当初異臭(ゴムや干物のにおい？)がするという事で、業者に調査してもらったところ室内機の断熱材に使われている「トリメチルアミン」からの臭いだったようです。これは自然界にも発生する臭い(バラやキクなど)との事で人体には影響しないそうです。夏休み中に業者に数回来てもらいました。30度の設定でエアコンをかけると臭いがとぶとのことでした。ほとんどのエアコンは改善されたのですが、9月に3Bでまた臭いがするとの事でしたので、内部の機械をとりかえてもらいました。

東側道路の向かい側に建った日通の社宅6階以上の部屋から、杉森のプールが見えてしまうそうです。2年前の建築説明ではわからなかったので、工事が終了してしまったのですが、西の窓にボードをつけてもらうように交渉中です。報告は以上です。

司　　会　　野球部男子の件は主治医などはいないのですか。近くに東京警察病院もありますよね。養護教諭によく相談したほうがいいのでは。

校　　長　　今回二度目ということもあり、重大な疾患があると大変なので、救急隊の方が専門のドクターと相談してくれました。「心臓なら東京医大が良い」とのことで、今回はそちらで精密検査してもらうことになりました。

司　　会　　ESC は秋川のかわりに「ここが良い」という所はありますか？

校　　長　　近くて、費用もかからないところがいいですね。オリンピックセンターなどありますが、簡単にとれません。継続して研修室をつかえるかどうかですね。

Ｂ委員　　高尾ビレッジもありますね。

Ｃ委員　　青梅にもありますよ。よく合宿で使われます。青梅鉄道公園の近くにあります。

Ｄ委員　　八王子セミナーハウスなどもそうですね。企業研修をなどする所を探してみるのもいいかもしれません。

Ａ委員　　8 月 29 日に小中の CS16 校の会長が集まり、話し合いをしたのですが、「地域運営学校の充実に向けて」というアンケートがありました。私が記入し、校長先生にみていただ教育委員会に送りました。杉一小の代表として伴野さんにも出ていただきました。

各校で色々と話しがでましたが、杉森のように人事や教育課程について、話し合っているところはあまりありませんでした。意見交換会で取り上げたいテーマについては、教育課程に対する CS の承認権について問題提起をいたしました。

というのは杉森では道徳教育の中でのキャリア教育、職場体験学習を 5 日から 3 日、また 5 日という事になりましたが、杉森流のやり方がどこまで認められるのか。済美教育センターの田中先生が見えた時にお聞きしたら、「杉並区立中学校職場体験学習実施要綱」が教育委員会で定められているとのことで、教育委員会規則で定められているので、それに沿ってやっていただければならないとのご回答でした。

指導要領の第六条に「学期内の連続した授業日 5 日間に」職場体験をするようにということでした。新しい教育要領では授業は年間 35 週にわたって行われる。(中略)ただし、各教科等や学習活動の特性に応じ、効果的な場合には夏季・冬季学年末の休業日の期間に授業日を設定する場合を含め、これらの授業を一定の期間に行うことができる。

これは、当協議会として改訂してもらえる事などの意見を申し出たいと思いました。

司　　会　　先ほどの PTA の会議の報告をいたしますと、「CS の性格について理解を深めたい」ということでお話しをさせていただきました。その会議の中で意見交換をしました。

1 年生の授業時間での心配なこと。最終的にはきちんと指示ができているのだろうか。自己有用感という感覚が弱いのではないか。先ほど校長先生がおっしゃっていたように、色々行事の中で成長していくとのお話しもあり、保護者の方たちも入学当初は落ち着かなかった一年生も秋の合唱コンの頃には改善されたということもあるので、気長に見ていきましょうという意見もありました。

厳しくしていこうというのではなく、むしろ自己有用感を育てていくことで、よい習慣をつくるのではないかということでした。

学校教育における方言について意見交換をしました。方言については、「学校の中では方言と言う物を大事にしながら、一般的には標準語をしゃべれるようにしていくというのが大事ではないか」という事でした。一人ひとりの子どもに目をやりながら、その子どもたちの中に自己肯定感。自己有用感を育てていくということでこの問題を克服していけばよいのでは。

少し時間がかかりましたが、自己紹介を含めて大変充実した会議ができました。自信を持って生徒を指導していただければいいかなと思います。

Ｂ委員　　卒業生であるお母様から、新しく来た先生方は杉森の校風を理解していないのではないかという意見があり、気になりました。

自由と自律とか…。

校　　長　　力量とけじめは大切です。なんとなく流されてしまう…というのでは困ります。

Ａ委員　　風見先生から、校内人事を聞いた時に大丈夫かなと思いました。学年のスタイルが決まっていかない。新しい先生がいて、大丈夫なのか。学年主任の先生は、杉森中を築かれてきた先生方の生活指導について知らないでしょう。例えばベルが鳴ったら教師も教卓にいるとか…。来年も新しい先生ばかりだと同じことになってしまうのでは…という事を感じました。

田邊先生がいらした頃とは違うんじゃないですか。

司　　会　PTA 役員さんたちは、兄姉がいる人がなっていたりしますので、極めてまともな意見だと思います。副校長先生が帰っていらっしゃったので、期待している面もあるようです。お話しする場を作っていただけるといいと思います。

校　　長　今までは PTA の運営委員会が合理化され、学期に１回程度になっています。そのため、意見を聞く場がなかったのでこれからは運営委員会をせめて 2 ヶ月に 1 回位のペースでやりたいと思っています。PTA 会長も同じように考えているようで、意見交換の場を持ちたいとの事でした。本当は月に１回できるといいのですが…、皆さんの仕事を持っていらっしゃるのでむずかしいかと…。

司　　会　１年生のクラブ活動についてはどうですか。

校　　長　話題に出る子は、運動部で熱心なんです。移動教室が終わり、その日も練習をするぐらい…。それを伸ばしてあげたいです。場面の切り替えができるといいですね。

Ｂ委員　２年生の役員さんから「手を出した行為について耳に入ってくるが、すぐに動くことはしません、一方的な話しを聞くのではなく色々と聞いたうえでこちらなり、先生にご相談しようと思っています。」といってお帰りになりました。先生の生徒に対する対応も含めて…という事でした。

Ｅ委員　授業不成立の状態が長期化すると子どもたちには不幸です。力量という言葉で摩り替えてしまうのではなく、適切な対応を学校が早く取ることが大切です。何が大事かな…ということで教員で作戦を立てるということもできますね。参考資料はありますが。

学級崩壊というテーマで使う教材で「NHK スペシャル・荒れた心をどうはぐくむか。広がる学級崩壊」教師研修用「学級崩壊」NHK で放送された「私は学級崩壊をこうして克服した」という自己肯定感・自己有能感をベースにした DVD などもありますよ。主として小学校対象ですが、高学年の事例もありますので参考になるのでは。

私たちはどうしようか…という作戦を立てるときに参考になりますよ。放置しておくのはまずいですよね。

校　　長　私たちも放置する気はありません。一人の教員に責任を負わせるものではありません。学年対応を実行しているところです。しかし教科担任として生徒指導もできないといけません。それをフォローする為に学年でのフォローも必要です。これ以上、問題が大きくならないように、ぜひ資料は参考にさせていただきます。

Ｅ委員　　生徒が授業中寝ていてもほうっておくというのは、他の生徒が見ても不満に思ってしまう。こういう時にどうするのかというのを教員の認識としてしっかりと確立しておかないといけない。このままにはしておけない。

校　　長　　もしかしたら睡眠障害ではないかと思える点もあります。それは保護者もなんとなく同じように思っているようです。

授業中にどうしても寝てしまう。特別に指導補助がいるようなら、補助員を付けるという次の手は考えています。これは、どうしても騒いでしまうという子に対しても同じです。

Ｄ委員　　睡眠障害を起こしているのではないですか。昼夜逆転しているのでしょう。日常生活から直していかないといけませんね。

校　　長　　ご家庭の生活リズムが夜型のようです。しかし、この間の移動教室では調理の場面で大活躍したり、弟妹の面倒をよくみているようです。教室での姿しか見ていないと他の部分が分かりませんが、実は違う面もあるんです。とはいえそのままにはできません。

司　　会　　スクールカウンセラーがせっかくいるのですから、見ていただいて、平行してドクターに相談してもらう事が必要ですね。

Ｅ委員　　自立心をはぐくむということが大切ですね。あれる子どもが中心にいても、その周りがしっかりしていれば、同調しないと思います。

教員の方のテーマですね。荒れている子の言葉を１対１でよく聴いてあげる、どれだけ聞いてあげられるかが大事ですね。子どもの心の声を聞き取ることを早く、しっかりやっていくことが大事ですね。

司　　会　　教員の発問・指示ができないといけない。発問はできても指示が出せない教師がいる。そうすると授業を成り立たせるのは大変。小学校と違い、中学校では学年全体で統一して言える様な事が大切ですね。寝ているときにどういった指示を出したらいいのか。

入学式から細かく指示していく必要があるのでは。例えば校長講和の最中は前をキチンと向いて、ひざに手をおいて…という細かい指示の積み重ねをしたり…そういうことも事も大切ですね。

ではこの件は校長先生にご理解いただき、次に進みたいと思います。次回は１０月１３日(木)人事について話し合います。